宮崎市きよたけ歴史館だより 115 号

しのぶ草

平成 25 年　8 月 16 日発行
発　行：宮崎市教育委員会文化財課
宮崎市きよたけ歴史館
所在地：宮崎市清武町加納甲 3378-1
TEL 0985-84-0234　FAX 0985-84-2634

《「宮崎縄文の日」開催》

7 月 7 日、当館で、宮崎縄文の日のイベントが開催されました。これは、清武町域で縄文時代の遺跡が多く発掘されていることから、市民の皆さんに、縄文土器などの遺跡や当時の生活に関心を持ってもらおうと、文化財課が主催しました。

小中学生や保護者など、約 120 人が参加しました。

縄文土器の文様を写し取るコーナーでは、土器に施された文様に、赤や青、黒などの色をつけて、紙に写し取る体験をしました。

植物から縄を作るコーナーでは、今ではどこにでも見られるカラムシという草木を使って、縄ができる工程を学びました。

石器を体験するコーナーでは、黒曜石（こくようせき）の石片で、フキなどの草や、魚や土器をかたちどった紙をきれいに切っていました。

《清武町・川口市小中学生文化交流使節団来館》

7 月 24 日と 26 日に、「清武町・川口市小中学生文化交流事業」の一環として、それぞれの使節団が来館しました。この事業は、戊辰戦争の折、江戸から領家村(現埼玉県川口市)に疎開した息軒先生の取り持つ縁で、平成 15 年から毎年行われてきているものです。24 日は、館内や安井息軒旧宅で説明を聞いて、安井息軒先生についての学習を深めていました。26 日は、当館でお別れ会が行われ、その後、川口市小中学生文化交流使節団は、清武町小中学生文化交流使節団が見送る中、宮崎空港に向かいました。3 日間の交流で、小中学生たちはかなり打ち溶け合った様子でした。8 月下旬には、清武町小中学生文化交流使節団が川口市を訪れる予定になっています。更に交流が深まることと思います。

《日向路"介さん"道中記⑦》

介さんの日向路も一週間を過ぎようとしている。ここ数日、佐土原、西都、高城(現木城町)と内陸部をすすんできた一行は、尾鈴の山並みを左手にみながら名貫川へとたどり着いた。

「二日、高城より名抜(貫)川とて、舟渡し有り...」名貫川は尾鈴山を源流域とする約 21 ㌔の川であり、矢研ノ滝をはじめとする尾鈴瀑布群はすべてこの川に懸かっている。一見すると静かな清流だが、ひとたび大雨となると激流へと変化し、付近の民や旅人を苦しめた歴史ももつ。介さん一行がこの川を渡る数日前、台風が日向国を襲来した。そのため、彼らの前には満水の名貫川が横たわっていたと思われる。当時の渡河料金は水位によって異なっていたため、彼らはかなり高い金子を支払ってこの暴れ川を渡ったことだろう。

その後、一行は、都農を過ぎ美々津へと至った。「津野まで四里、津野より耳津まで三里、湊有り、舟渡し、四ツ瀬川と言う...」美々津は高鍋藩の港町である。町は千石船をもつ廻船業者たちにより支えられ、繁栄ぶりはその町並みを称して〝美々津千軒〟とよばれるほど大層なものであった。ただし、美々津の港町が本格的に整備されたのは元禄期(1688～1703)ごろからであるため、介さん一行が訪れた当時〈＝貞享２年(1685)〉はこれから整備が開始されようとしていた時期であったのかもしれない。また、美々津にあったとされる〝四ツ瀬川〟については、現在その河川名を見ることは出来ない。ただし、耳川河口からやや内陸に入ったところに〝余瀬(よせ)〟という地名があるため、その余瀬にちなんで美々津付近の住民が当時耳川のことを〝四ツ瀬川〟と呼んでいたことも想像される。ちなみに、この〝余瀬〟には、椎葉山など耳川上流域からの諸産物を管理する番所がおかれていた。

「... 耳津より、新町まで二里半　右、新町より有馬左衛門佐殿領、留守居有馬忠兵衛、堀斉宮、両人より、この宿迄飛脚にて書状来らん...」

高鍋藩領から延岡藩領へと歩をすすめた一行は、この日、後に代官出張所(陣屋)が置かれることとなる富高村新町に宿をとった。豊後街道の旅も残りわずか。翌日は、有馬氏治める延岡藩御城下入りである...

（文責　井田）

★ 講座等のご案内 ★

お気軽にご参加ください

◆ 「歩こや　清武①」
日　時：平成 25 年 9 月 4 日（水）　午前 9 時～正午
内　容：中野・南加納周辺をウォーキング

◇ 「宮崎の縄文講座③」
日　時：平成 25 年 9 月 14 日（土）　午前 10 時～正午
内　容：縄文時代のアクセサリーや祭りの道具について

◇ 「きよたけ歴史講座⑤」
日　時：平成 25 年 9 月 21 日（土）　午前 10 時～正午
内　容：近代の清武

◆ 「文化探訪バスツアー①」　参加料無料
日　時：平成 25 年 10 月 19 日（土）午前 9 時～午後 3 時半
内　容：佐土原町内の史跡・文化財等を訪ねるバスツアー
定　員：25 名　【応募締め切り　10 月 5 日（土）必着】
※詳細はきよたけ歴史館にお問合せください。　（昼食各自持参）